

反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
ー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ー

オーガナイザ：瀬田 和久（大阪府立大学），村上 正行（大阪大学），松田 憲幸（和歌山大学）

JSiSE 学会誌編集委員会では 2015 年まで，全国大会プレカンファレンス企画として，チュートリアル“編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門”を実施してきました。

「チュートリアルコンテンツ」（解説資料やビデオ）

<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・ 論文投稿から掲載までの流れ，投稿に際しての注意
- ・ 論文種別と採録基準 —現状と改訂の方向性—
- ・ 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・ 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

3 年前からは上記コンテンツを事前に視聴いただいた上で，対面でのご相談・議論に臨む「反転+ディスカッションベース」の論文投稿の相談会を実施しており，参加者の皆様にご好評をいただいたことから，本年度もこれを継続します。本学会には，「一般論文」，「実践論文」，「ショートノート」，「実践速報」の 4 つの研究論文カテゴリがあります。たとえば，論文投稿をしたいが 4 つの論文カテゴリの区別が判然としない方や，実践論文として満たさなければならない基準を知りたい方，研究を進める上でのポイントやヒントが欲しい方，査読における考え方を整理したい方など，投稿に関するあらゆる不安・お悩みについて，編集委員・参加者の知恵を合わせて，是非，一緒に考えたいと思います。

投稿を予定しておられ，論文執筆について編集委員（Adviser）から直接アドバイスを受けた方（Advisee）には，次の二つをお願いします。

1. 事前にチュートリアルコンテンツを閲覧
2. プレカンファレンス，当日，投稿予定の研究内容や執筆上のお悩みをプレゼン

編集委員・参加者との対話・議論を通して，論文執筆へとつながるブレークスルーを見い出していきたいと思えます。

Advisee の方は，事前に参加希望をご提出ください（募集の詳細は学会員メーリングリスト jnews などでお知らせします。なお希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定させていただくことがございます）。また，事前に発表スライドなどの資料をご提出いただく場合もございます。また Advisee でない方のご参加も歓迎いたします。単に Advisee のプレゼンや編集委員との議論を聴講していただくだけでも，歓迎いたします。学生や若手研究者をはじめとした，多くの方にご参加いただければ幸いです。